

令和8年1月13日

## お知らせ



岡山県立博物館

担当者

岡崎・馬野・内池

電話番号

内線：5015

直通：086-272-1178

## 岡山県立博物館 令和7年度特別展 「岡山の文化と出会うー宗教美術から超絶技巧までー」 Ⅱ期が始まります！

岡山県立博物館では、令和7年11月28日（金）より、令和7年度特別展「岡山の文化と出会うー宗教美術から超絶技巧までー」を開催しており、令和8年1月17日（土）から、Ⅱ期が始まります。

Ⅱ期では、神像・獅子・舞楽面などの神道美術、四条派や文人画を中心とした近世絵画、そして近代に活躍した金工師である正阿弥勝義などの作品をご紹介します。

なお、会期中の2月9日（月）・10日（火）に一部展示替えを行います。

### 記

- 会 期** 令和8年1月17日（土）～3月8日（日）  
＜前期＞1月17日（土）～2月8日（日）  
＜後期＞2月11日（水）～3月8日（日）
- 開館時間** 午前9時30分～午後5時
- 休 館 日** 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、2月10日（火）  
ただし、3月2日（月）は岡山後楽園開園記念日のため開館、翌3日（火）休館。
- 入 館 料** 大人460円、65歳以上230円、高校生以下無料  
※3月2日（月）は岡山後楽園開園記念日のため、入館料無料
- 主な展示品** 別添資料のとおり

## 6 関連行事 【記念講演会】「県博の「宝物」に想いを馳せて」

日時：1月17日（土） 午後1時30分～午後3時

講師：守安 収 氏（岡山県立美術館 館長）

会場：岡山県立博物館 講堂

定員：120名（事前申込必要、先着順、聴講無料、別途入館料必要）

＜申込方法＞

「電子申請サービス」または「FAX」のいずれかの方法で、必要事項（氏名・ふりがな・電話番号・希望するイベント名を記入して）申し込む。

FAX：086-272-1150



電子申請サービス

※2月15日（日）に開催する「真鍮アクセサリー作り」は、定員に達したため、募集を締め切りました。

### 【学芸員による展示解説】

日時：工芸品 1月24日（土）、2月21日（土）

神道美術・近世絵画 2月7日（土）、3月7日（土）

午後2時～3時

会場：岡山県立博物館 2階展示室（事前申込不要、入館料必要）

### 【館蔵品クイズ】

会場内のクイズに正解すると、記念シールをプレゼントします。

さらに、I期（令和7年11月28日～令和8年2月12日）のシールを持参された方には、特別シールもプレゼントします。

## おもな展示品(Ⅱ期)

### 獅子 ※前後期

重要文化財 一对 平安時代 津山市・高野神社蔵

阿吽の一对の獅子です。顔を拝者に向けることなく、まっすぐ前を見据え胸を張って座ります。上半身を丸々と造り、下半身に掛けて小さくなだらかに収まる姿勢は古様です。



### とら は は ちょうず くろ だりょうざんひつ 虎に叭々鳥図 黒田綾山筆 ※前期・後期各4面 8面 寛政8年(1796) 岡山県立博物館蔵

江戸時代の南画家・黒田綾山の若い頃の作品です。綾山は岡本豊彦や白神暉々らの最初の師であり、多くの画家を育てました。本作は綾山には珍しい大作で、制作年の分かる作品として重要です。岡山市・宝積院旧蔵。



### にわとりこうろ 鶏 香炉 ※前後期 しょうあみかつよしやく 正阿弥勝義作 1台 明治時代 岡山県立博物館蔵

銀地の本体に鶏の意匠を取り入れた香炉です。

金・赤銅・素銅などの金属を組み合わせ、雛を見守る雄鶏と雌鶏、地中の虫をついばもうとする雌鶏など、様々な姿の鶏を表現しています。



ひな すつりかびん  
雛巢釣花瓶

※前後期

正阿弥勝義作

1口 明治時代

岡山県立博物館蔵

釣花瓶型の文鎮で、ひよこの飼育に使用する稲藁製の巢を模しています。

巢の縁にとまる2羽の雛はそれぞれ青金と 朧 銀で作られ、金・銀・赤銅などで装飾されています。

また、雛の視線の先には赤銅製の小さな蜘蛛がいます。



ついこくふうげつさんこんのすじくぼん  
堆黒風月三昆之図軸盆

※前期のみ

逸見東洋作

1口 大正時代

岡山県立博物館蔵

掛軸や巻子を置くための盆(軸盆)で、黒漆を塗り重ねたあと部分的に彫り下げて文様を表現する「堆黒」の技法が用いられています。

「風月三昆」は文人画の画題のひとつで、蓮・蘭・菊を意味します。本作では下から菊・蘭・蓮が配置されています。





令和7年度特別展



# 岡山の文化と出会う



— 宗教美術から超絶技巧まで —

Ⅱ 期

神道美術・  
近世絵画・工芸品



2026年

1月17日(土)～3月8日(日)

開館時間：午前9時半～午後5時

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、2月10日(火)。

ただし、3月2日(月)は岡山後楽園開園記念日のため無料開館、翌3日(火)休館。

入館料：大人460円、65歳以上230円、高校生以下無料

(上段)岡山県指定重要文化財 女神像 平安時代 個人  
鯉魚尽図盆 逸見東洋作 明治11年(1878) 岡山県立博物館 (後期のみ)  
(中段)重要文化財 獅子 平安時代 津山市・高野神社  
龍果釣花瓶 正阿弥勝義作(部分) 明治時代 岡山県立博物館  
(下段)群鶏図香炉 正阿弥勝義作(部分) 明治時代 岡山県立博物館  
妓女図 柴田義重筆(部分) 文化11年(1814) 岡山県立博物館 (前期のみ)

主催／岡山県教育委員会 岡山県立博物館

共催／山陽新聞社 RSK山陽放送

後援／OHK岡山放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送 KSB瀬戸内海放送 oniビジョン (公財)岡山県郷土文化財団



岡山県立博物館  
Okayama Prefectural Museum





1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.

8.

## 岡山県立博物館は、岡山の歴史と文化を伝える施設です。

令和7年度特別展  
宗教美術から超絶技巧まで ― II 期

岡山市・吉備津神社から  
獅子狛犬(重要文化財)も  
来てくれます! (2月11日以降)

岡山県立博物館は、岡山の歴史と文化を伝える施設です。昭和46年(1971)の開館以来、県内ゆかりの文化財を幅広く収集し、大切に保管と展示を行ってきました。本展覧会では、令和8年(2026)に、開館55年を迎えることを記念して、寄託品を含む収蔵品の中から美術工芸分野を特集し、2期に分けて岡山を代表する文化財を一堂に公開します。

II期では、神像・獅子・舞楽面などの神道美術、四条派や文人画を中心とした近世絵画、そして近代に活躍した金工師である正阿弥勝義などの作品をご紹介します。

1. 岡山市指定重要文化財 四社神明宮 室町時代 岡山市 持良院前跡の石
2. 岡山県指定重要文化財 男神坐像 平安時代 真庭市 宇南寺 希福近景
3. 岡山県指定重要文化財 舞楽面 鎌倉時代 真庭市 松田神社
4. 小堀季子邸 正阿弥勝義作 明治34年(1901) 個人
5. 獅子彫刻物・玉手箱蓋合 正阿弥勝義作 明治時代 岡山県立博物館
6. 銀葉豹花瓶 正阿弥勝義作 明治時代 岡山県立博物館
7. 虎に爪つ鳥図 黒田康山筆 寛政8年(1796) 岡山県立博物館(金8面 前後期で1面づつ入替)
8. 吾心山楽図 清土堂筆 江戸時代 岡山県立博物館(後期のみ)

### 館蔵品クイズ

会場内のクイズに正解すると、記念シールをプレゼント! さらに、I期(11月28日~1月12日)のシールを持ってきた方には特別シールも!



交通のご案内 JR岡山駅 後楽園口(東口)から

- 徒歩(約25分)
- 路面電車(約5分)【東山行】「城下」下車 徒歩(約10分)
- バス(JR岡山駅バスターミナル1番のりば) 岡電バス(藤原団地行)(約20分)「後楽園前」下車すぐ
- お車で overs の場合 山陽道岡山インターより約15分(後楽園駐車場をご利用ください。40分につき100円)

### 関連行事

#### ① 記念講演会「県博の「宝物」に想いを馳せて」

日時 1月17日(土)午後1時半~3時  
講師 守安収氏(岡山県立美術館 館長)  
会場 岡山県立博物館 講堂  
定員 120名  
(事前申し込み必要、先着順、入館料は別途必要)

#### ② 学芸員による展示解説

日時 工芸品 1月24日(土)・2月21日(土)  
神道美術・近世絵画 2月7日(土)・3月7日(土)  
午後2時~3時  
会場 岡山県立博物館 2階展示室  
(事前申し込み不要、見学無料、入館料は必要)

#### ③ 真鍮アクセサリー作り

真鍮のプレートに金槌やタガネ・刻印を使って模様を描き、オリジナルのアクセサリー(ブローチまたはヘアゴム)を制作します。  
日時 2月15日(日)  
①午前10時~ ②午後2時~  
※各回1時間程度  
講師 村上愛氏(金工作家)  
会場 岡山県立博物館 講堂  
定員 各回5名  
参加費 ①1,430円(円形2種・ドーナツ形・梅形)  
②2,200円(菊形)  
(材料代、全5種から1種選択)  
(事前申し込み必要、先着順、入館料は別途必要)

「岡山県電子申請サービス」「FAX」のいずれかの方法で、必要事項(①氏名・②よみがな・③電話番号・④希望するイベント名・⑤③のイベントは希望する時間、種類)をご記入の上、「特別展イベント担当係」までお申し込みください。

FAX.086-272-1150 \*最新情報は当館ホームページ等をご覧ください。



電子申請サービス

岡山県立博物館  
Okayama Prefectural Museum

〒703-8257 岡山市北区後楽園1番5号  
TEL.086-272-1149(代表) FAX.086-272-1150  
https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/

